

はじき すえき 土師器と須恵器

土師器と須恵器はどちらも古墳時代の遺跡から出土する土器ですが、色や硬さが異なっています。

土師器は弥生土器と同じく、たき火で焼いた土器で、焼く温度がそれほど高くないため、比較的やわらかく、赤っぽい色をしています。

須恵器は5世紀頃に朝鮮半島から伝わった土器で、ロクロを使ってつくり、窯で高温で焼くため、土師器に比べて精巧で硬く、黒っぽい色をしています。

土師器

須恵器



焼成温度

800℃前後

1,200℃前後

色

赤褐色

灰色

固さ

やわらかい

硬い

